



# 生活とお金に関するアンケート

---

2023年1月31日

挑む。超える。ともに創る。

 プロクリアホールディングス

# 目次

- 1 新型コロナウイルス感染症に関する家計への影響について
- 2 2023年の展望について
- 3 備えが必要（経済的に不安）と感ずること
- 4 お金の支払いをする際の決済方法
- 5 資産運用について

# 調査の概要

## 調査目的

新型コロナウイルス感染拡大による経済への影響が拡大し、国内経済においても活動自粛などにより国内消費が抑制されている状況が3年超となりました。このような中で、青森県民が生活環境の変化をどのように感じているのか、お金に関する意識について掘り下げることを目的にアンケートを実施しました。

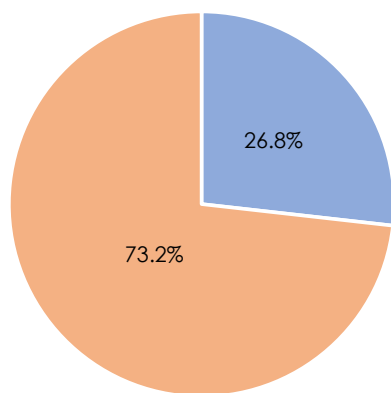
コロナ禍での消費行動の変化やキャッシュレス決済サービスの普及状況などもお知らせします。

調査対象 … 青森県内に居住の個人 1,310名

- 調査方法 … 無記名による回答選択方式および自由記述方式
- 調査時期 … 2022年12月初旬 ~ 12月下旬（毎年1回）
- 回収率 … 1,310名（100%）

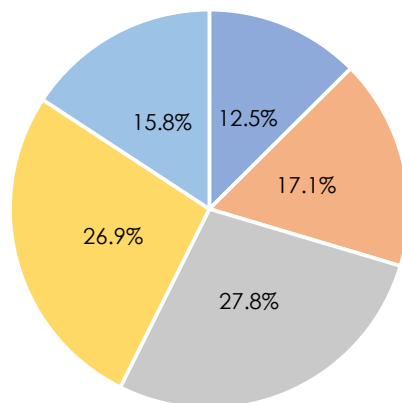
## 回答者の属性

回答者の性別



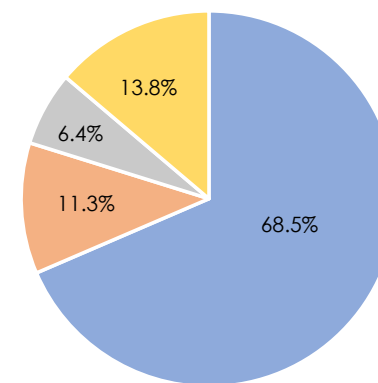
■ 男性 ■ 女性

年代別



■ ~20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代~

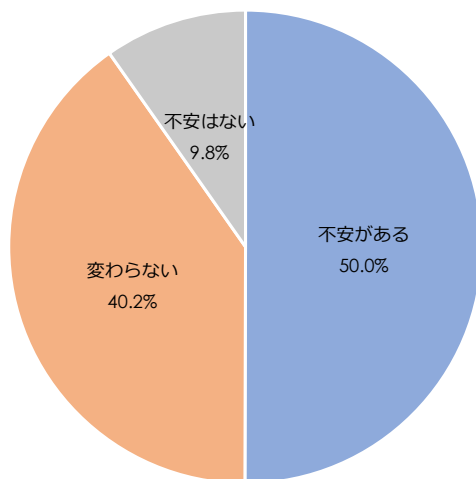
職業別



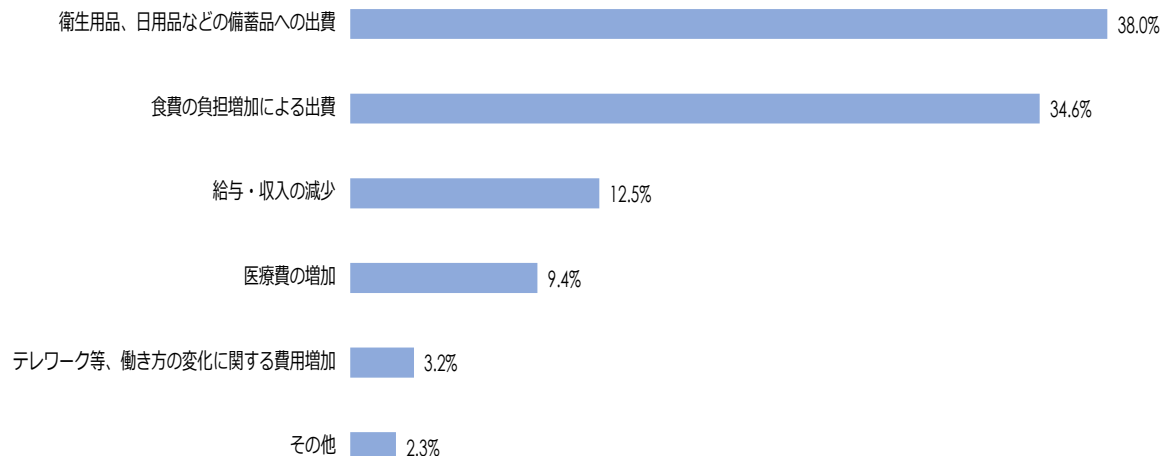
■ 民間 ■ 公務員 ■ 自営業 ■ その他

# 1.新型コロナウイルス感染症に関する家計への影響について

1-1. 新型コロナウイルス感染拡大による家計への影響についてお聞かせください。



1-2. 「不安がある」と回答した方はその理由を教えてください。



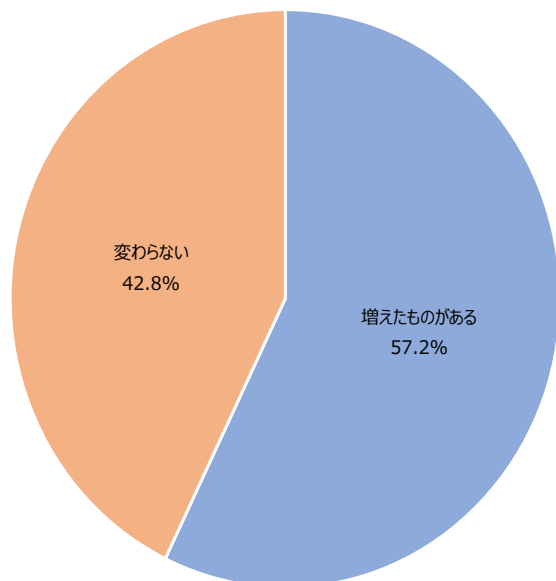
## 新型コロナウイルス感染拡大による家計への影響

1-1. 新型コロナウイルス感染症による家計への影響について尋ねたところ「不安がある（50.0%）」と回答した人は、前年（46.1%）と比べ増加した。コロナ禍の生活環境の長期化に加え、物価高騰などの外部環境の変化も増加した要因であると考えられる。

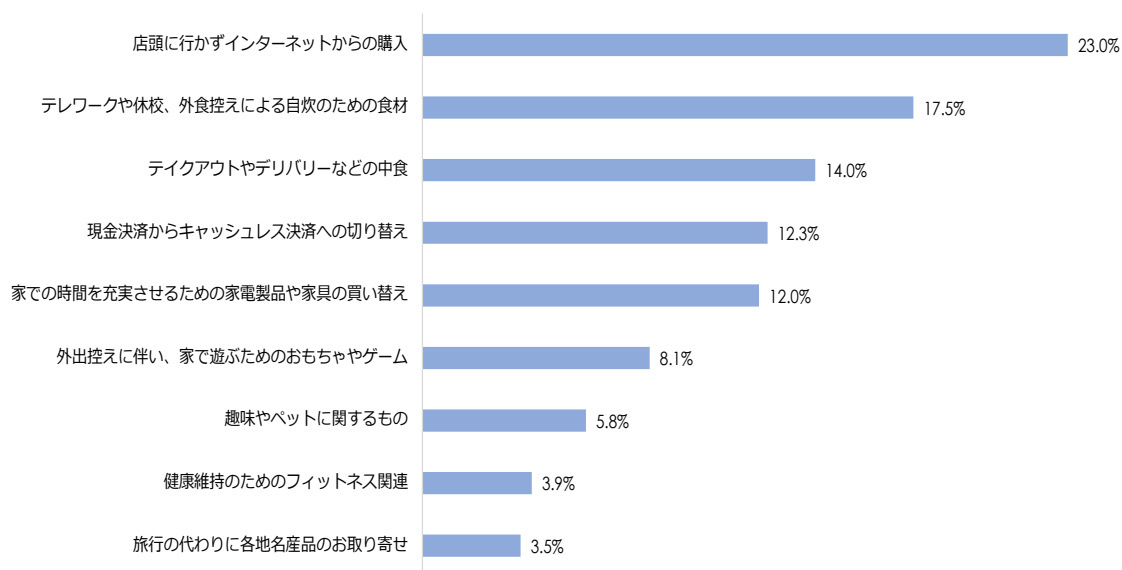
1-2. 「不安がある」と回答した方にその理由を尋ねたところ、「衛生用品、日用品などの備蓄品への出費（38.0%）」と最も高い割合となった。次いで「食費の負担増加による出費（34.6%）」となった。コロナ禍における雇用や収入の減少、除菌やマスク等のコロナ対策用品への出費が増えていることに加え、ロシアウクライナ問題を発端とする物価高騰の影響もあると思われる。

# 1.新型コロナウイルス感染症に関する家計への影響について

1-3. コロナ禍（2020年以降）で、以前と比べて増えた出費はありますか。



1-4. 「増えたものがある」と回答した方は増えた項目を教えてください。



## コロナ禍における消費行動の変化

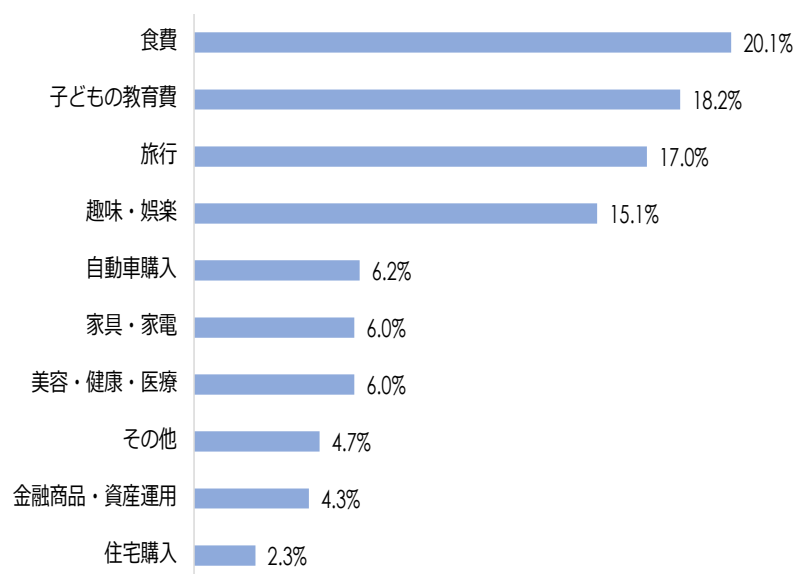
1-3. コロナ禍（2020年以降）で、増えた出費があるかを尋ねたところ「増えたものがある（57.2%）」と答えた割合が前年（44.3%）と比較して増加した。コロナ禍の長期化や物価高騰の影響が表れたものと考えられる。

1-4. 「増えたものがある」と回答した方にその内容を尋ねたところ、「インターネットからの購入（23.0%）」が最も高い割合となった。次いで「自炊のための食材費（17.5%）」となった。感染リスクを避け、外出を控える生活習慣が定着したことで購入方法に変化があることがわかる。また、外出控えやテレワーク導入など、在宅時間が増えたことによる食材費や、自宅での時間を充実させるためへの出費が増えていることがわかった。

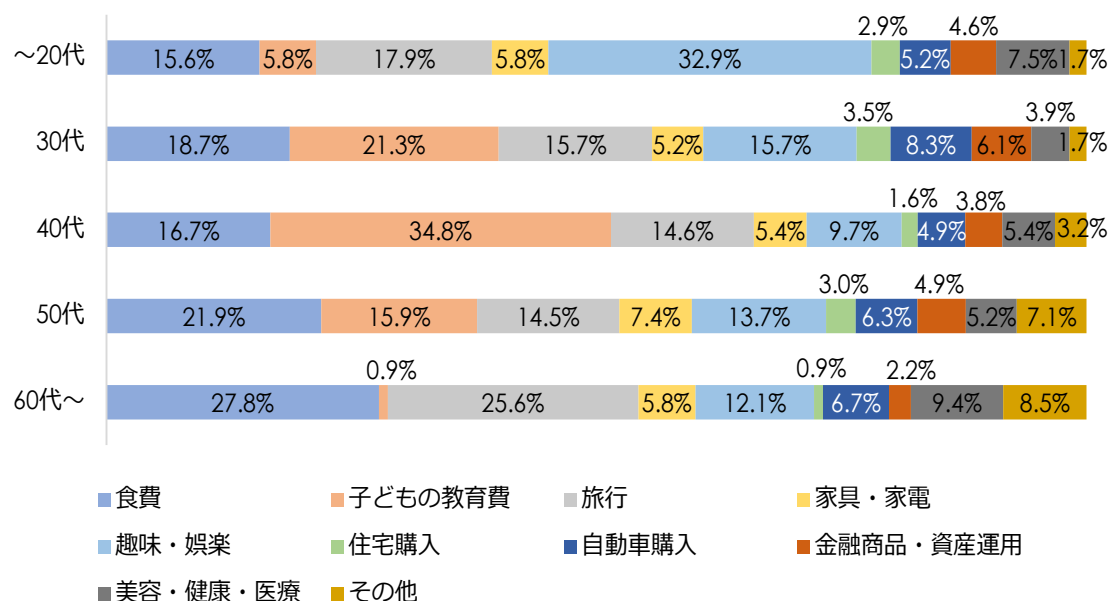
## 2.2023年の展望について

### 2.2023年は何に最もお金を使おうと考えていますか？（いずれか）

《全体》



《年代別》



### アフターコロナを見据えた家計の展望

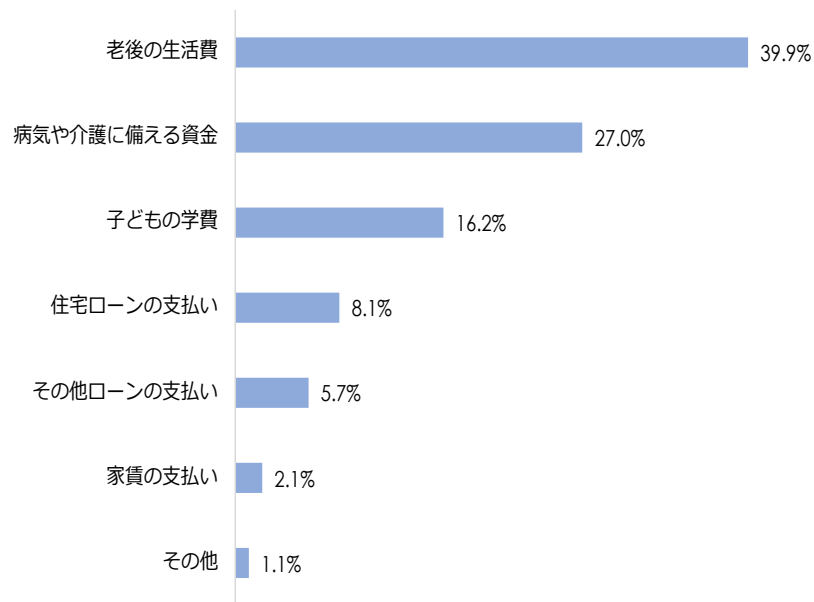
【全体】 2023年は何に最もお金を使う予定か尋ねたところ、「食費（20.1%）」が最も高い割合となった。次いで、「子どもの教育費（18.2%）」、「旅行（17.0%）」となった。全体の割合は昨年とほぼ変化は無かったが、「食費（昨年17.3%）」と「子どもの教育費（昨年16.9%）」が増加した。

【年代別】 年代別で見ると40代の「子どもの教育費（34.8%）」が最も高い割合となった。また、20代において「趣味・娯楽（32.9%）」が前年比で大きく増加した。すべての年代で「旅行」が増加傾向になっており、アフターコロナを見据え、旅行やレジャーへの期待が高まっていると言える。

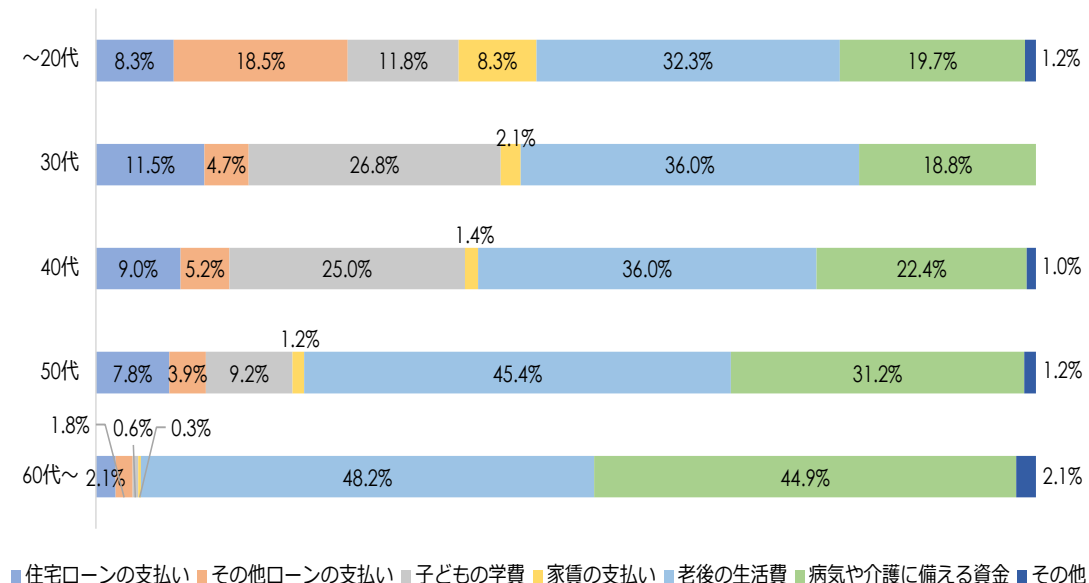
### 3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずること

#### 3. 備えが必要（経済的に不安）と感ずることはなんですか？

《全体》



《年代別》



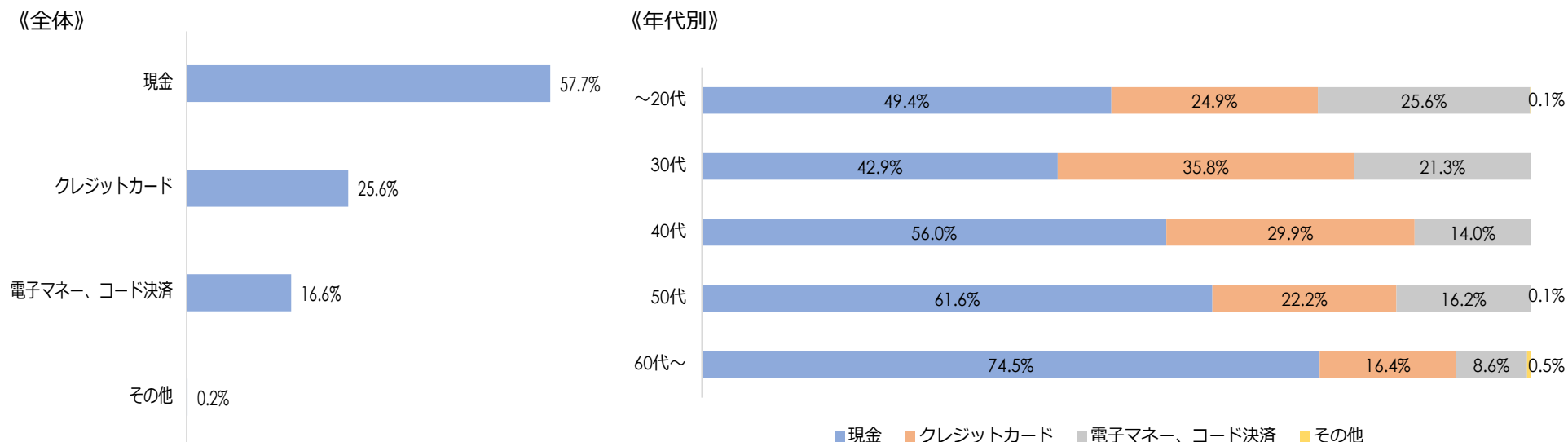
#### 人生100年時代「老後の生活費」への不安が続く

【全体】「備えが必要（経済的に不安）」と感ずることで最も高い割合となったのは「老後の生活（39.9%）」となった。次いで「病気や介護に備える資金（27.0%）」、「子どもの学費（16.2%）」で昨年までとほぼ同様の結果となった。

【年代別】すべての年代で「老後の生活費」に対する割合が高く、昨年同様の結果となった。世代を問わず老後の生活に対して経済的な不安を感ずていることがわかった。

## 4. お金の支払いをする際の決済方法

### 4-1. あなたがお金を支払うときの決済方法は？（全体・年代別）



#### 決済方法は若い世代のキャッシュレス化が進展傾向

【全体】 お金の支払いをする際の決済方法について尋ねたところ、「現金（57.7%）」が最も高い割合となった。昨年の「現金（昨年61.3%）」から減少し、「電子マネー、コード決済（昨年13.6%→16.6%）」へシフトしていることがわかった。国を挙げてキャッシュレス決済サービスの普及を進めているが、いまだ半数以上は現金決済となっており、決済方法を変更した方の割合はそれほど多くないことがわかった。スマホでのキャッシュレス決済は増加傾向であるが、依然利用率が高いのはクレジットカードであることがわかる。

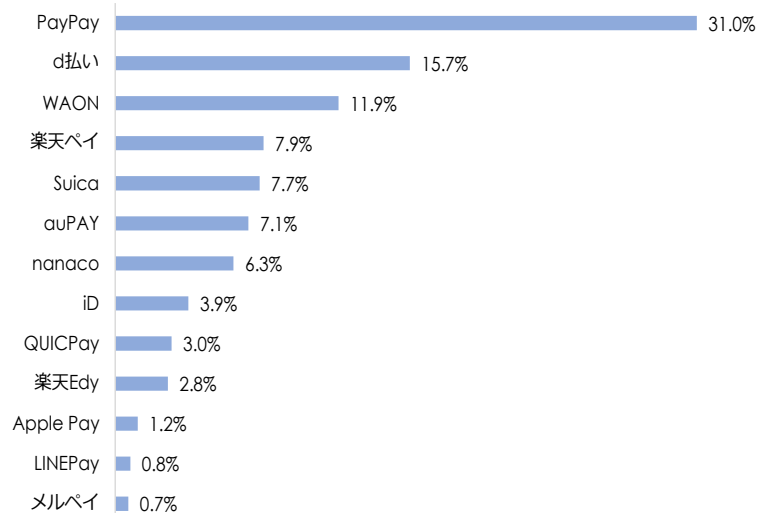
【年代別】 20代、30代では「現金」の割合が大きく減少し、キャッシュレス決済が浸透している。一方、60代以上では「現金（昨年69.7%→74.5%）」が増え、「クレジットカード（昨年24.7%→16.4%）」が減る結果となった。



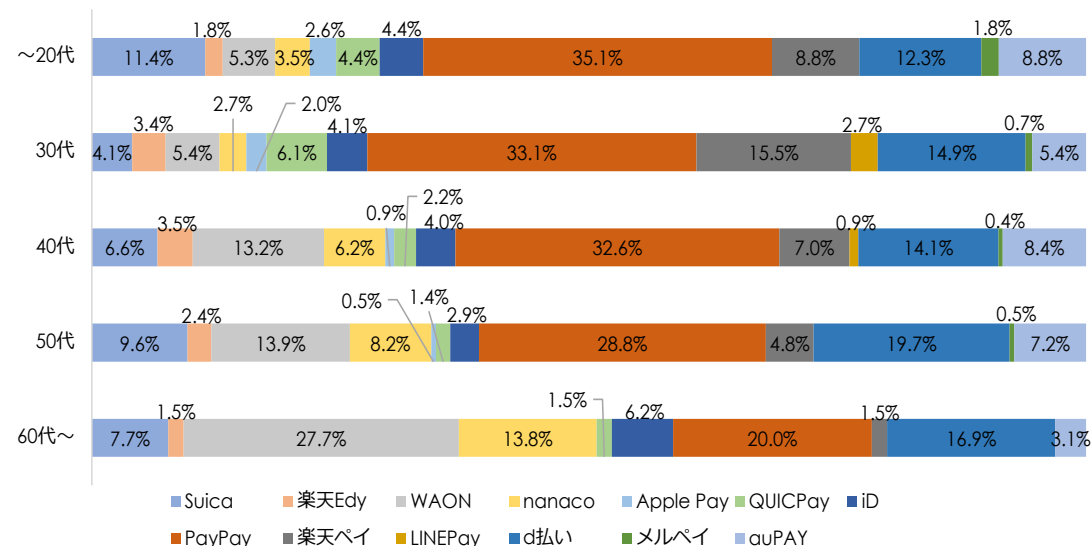
## 4. お金の支払いをする際の決済方法

### 4-2. 「電子マネー、コード決済」をご利用の方は、主にお使いの決済方法を教えてください。 (全体・年代別)

《全体》



《年代別》



#### 40代以上は電子マネー決済、20・30代はスマホ決済の傾向

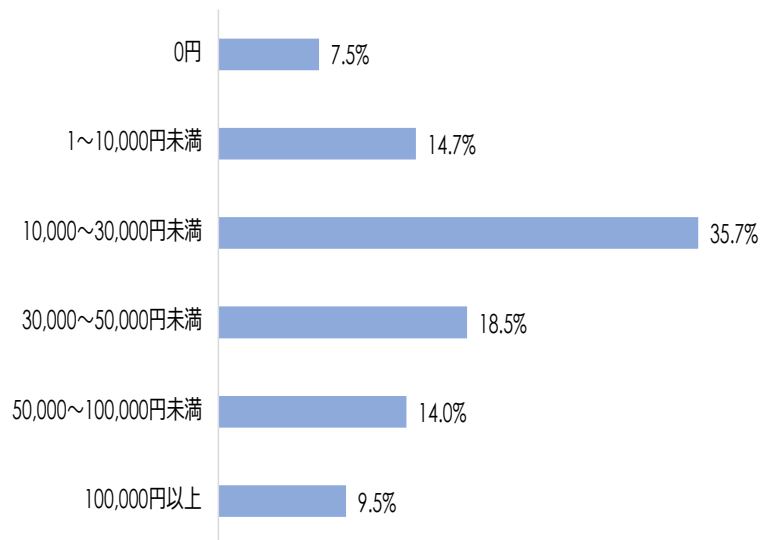
【全体】「電子マネー、コード決済」を利用している方に、利用している決済方法を尋ねたところ、「PayPay（31.0%）」が最も多く、次いで「d払い（15.7%）」となった。利用の多い電子マネー、決済コードは昨年と同様となっており、普段利用している通信会社や、オンラインサービス、よく使う店舗でのポイント還元率等でそれぞれが利用しやすい決済サービスを選択している。

【年代別】電子マネー（楽天Edy、WAON、nanaco）は40代以上の人が多く使っており、若い年代ではスマホ決済の割合が多い。電子マネー決済は年代が高くなるに従って増加する傾向にあり、スマホ決済に比べて簡単でわかりやすいという利点があるものと思われる。

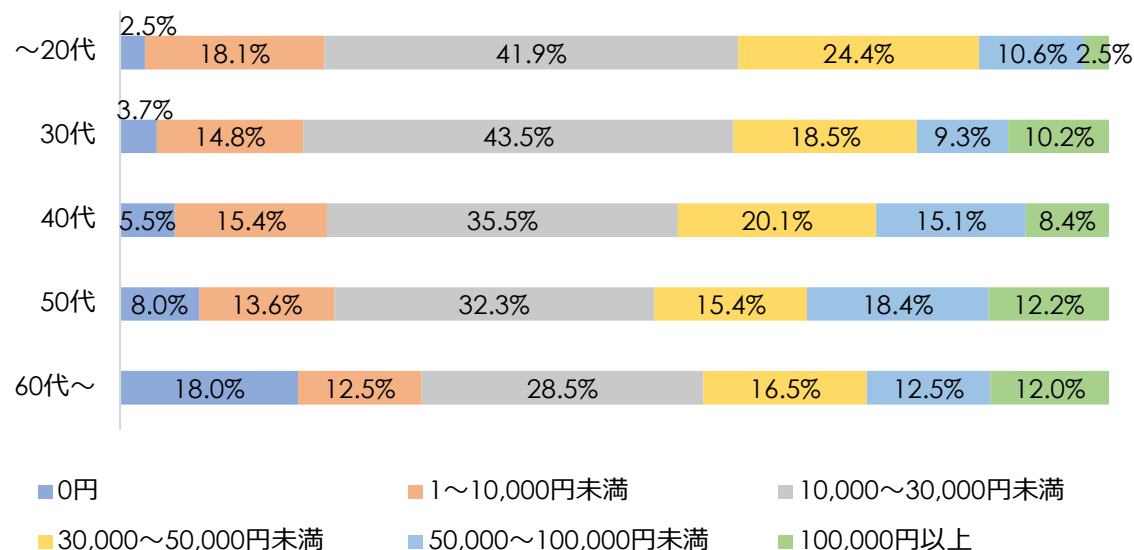
## 5. 資産運用について

### 5-1. 2022年の月間平均貯蓄額はおよそいくらでしたか？

《全体》



《年代別》



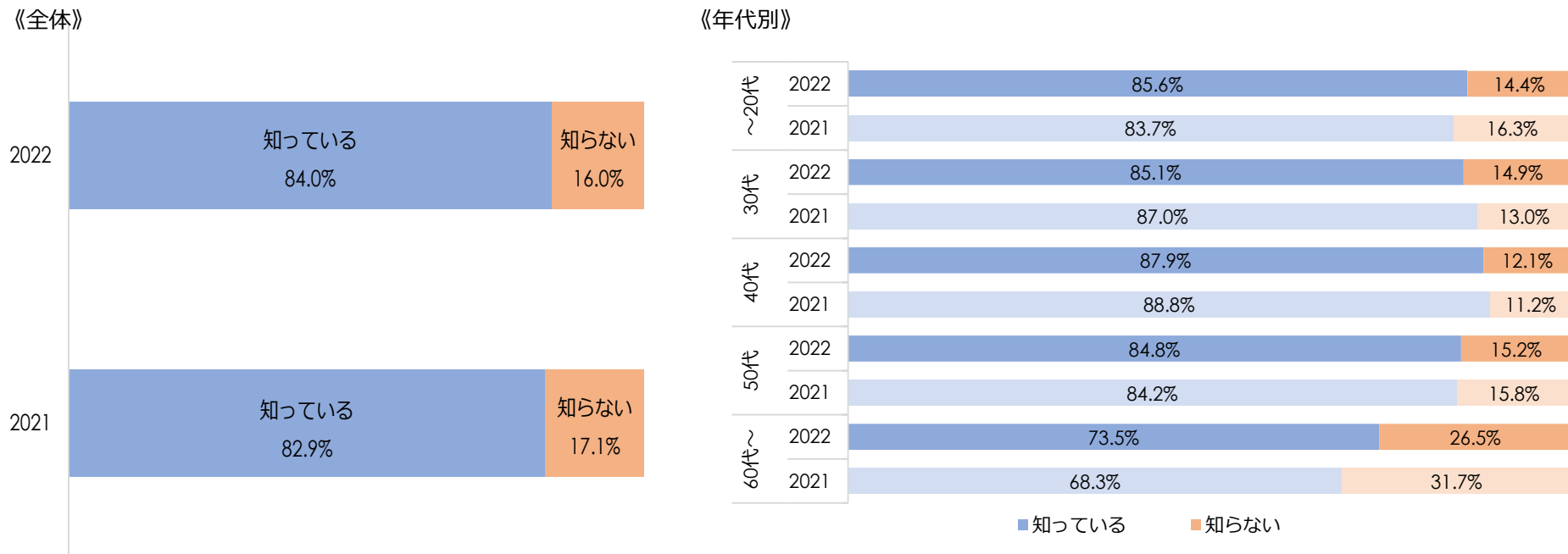
#### 月間平均貯蓄額は「1万~3万円未満」が最多

【全体】月間平均貯蓄額について尋ねたところ、「1万~3万円未満（35.7%）」が最も高い割合となった。次いで「3万~5万円未満（18.5%）」、「1~1万円未満（14.7%）」となった。

【年代別】すべての年代で「1万~3万円未満」が高い割合となったが、「0円」と回答した割合を見ると、20代が（2.5%）と最も少なく、若い年代でも意識して貯蓄をしていることがわかる。

# 5. 資産運用について

## 5-2. NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っていますか？



### 制度周知は年々増加

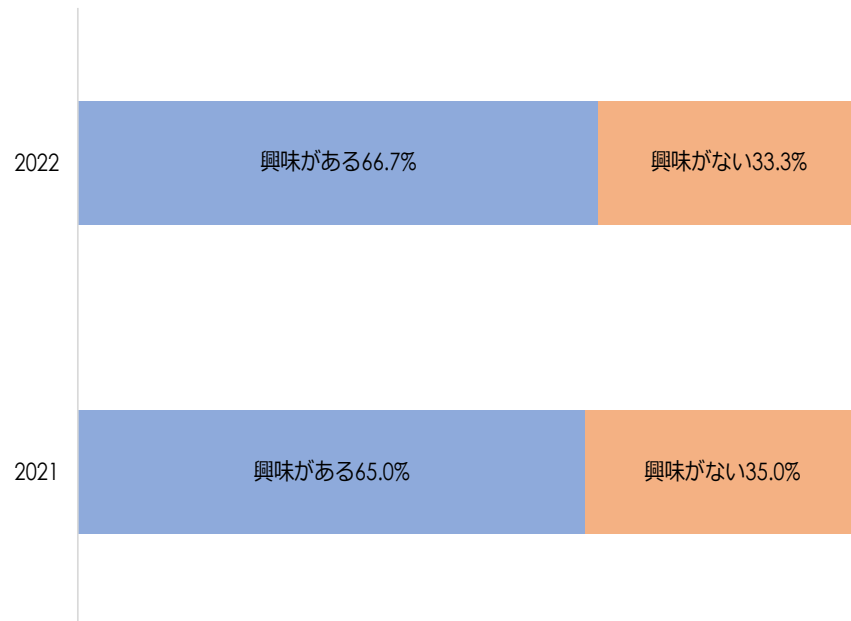
【全体】NISA(ニーサ)やiDeCo(イデコ)等、少額からでも始められる資産形成に役立つ制度を知っているか尋ねたところ、前年度比1.1ポイント増の84.0%が「知っている」と回答し、幅広い年代で制度の周知は進んでいる結果となった。

【年代別】年代別にみると40代で「知っている」割合(87.9%)が最も高い割合となった。20代、60代でも「知っている」割合は増加しており、ほとんどの世代で制度理解が進んでいると考えられる。

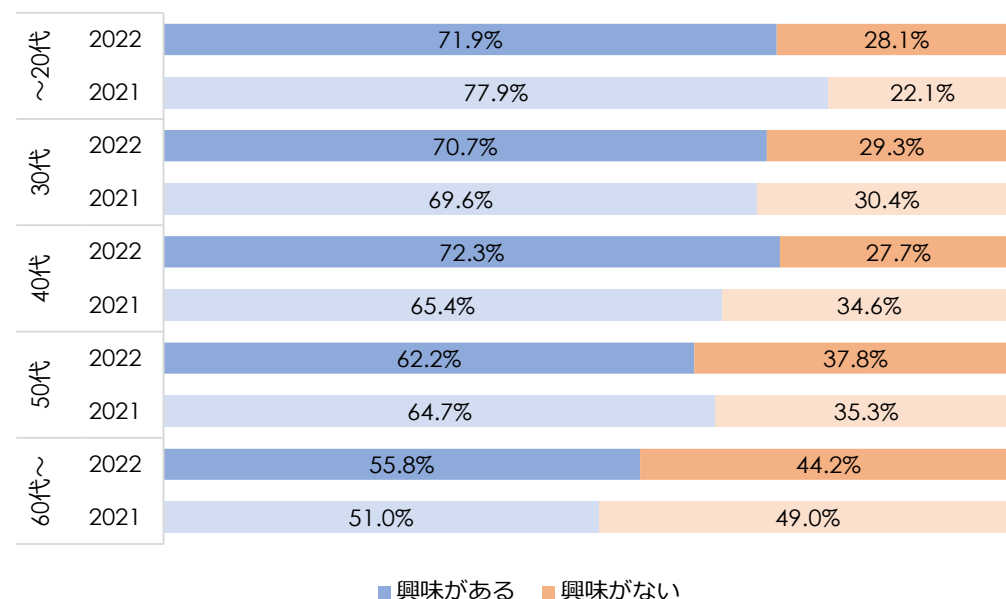
# 5. 資産運用について

## 5-3. 資産運用に興味はありますか？

《全体》



《年代別》



■ 興味がある ■ 興味がない

### 「興味がある」割合は40代を中心に増加

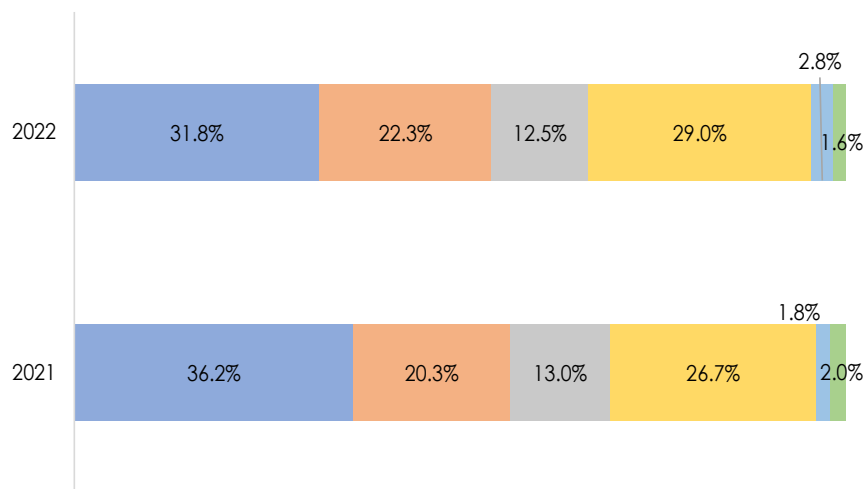
【全体】 資産運用に興味があるか尋ねたところ、「興味がある」と回答した割合は前年比1.7ポイント増の66.7%と増加した。

【年代別】 30代・40代と60代以上で「興味がある」が増加している。30代~40代で「興味がある」割合が増加している一方で20代の「興味がある」割合が減少した。

# 5. 資産運用について

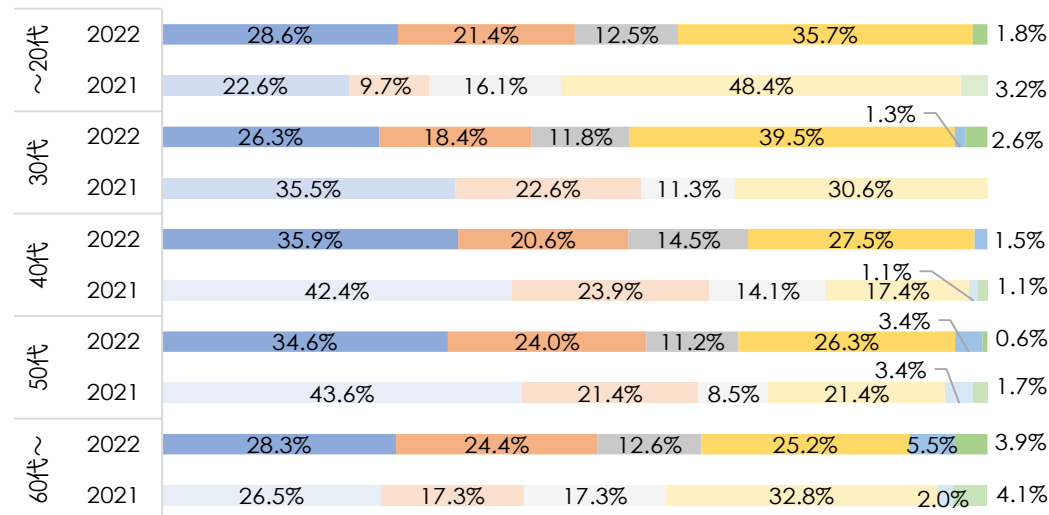
## 5-3-1. 資産運用に「興味がない」理由を教えてください。

《全体》



- 運用に回すお金がないから
- 損失等の可能性があるから
- 必要性を感じないから
- (資産運用の)知識がないから
- 過去に失敗した経験があるから
- その他

《年代別》



- 運用に回すお金がないから
- 損失等の可能性があるから
- 必要性を感じないから
- (資産運用の)知識がないから
- 過去に失敗した経験があるから
- その他

### 「運用に回すお金がない」割合が高い

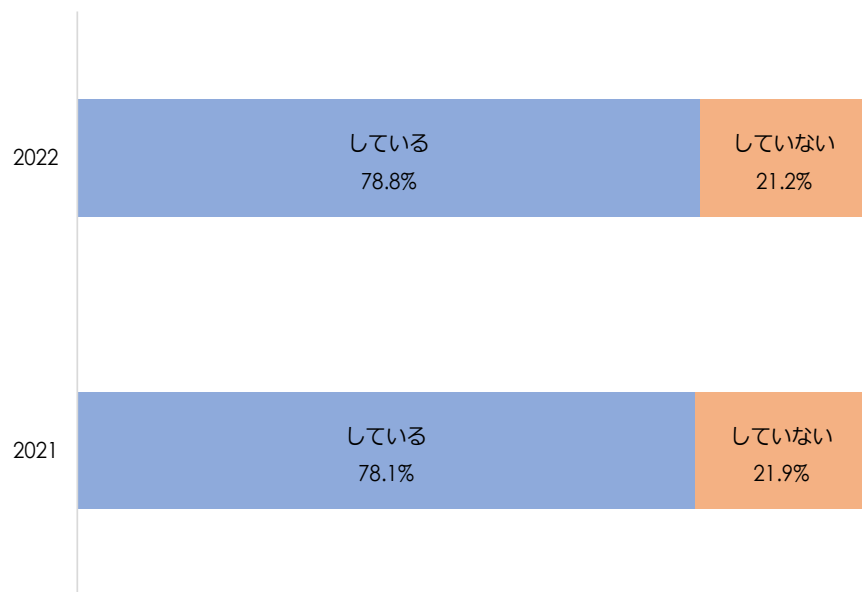
【全体】質問5-3.で資産運用に「興味がない（33.3%）」と回答した方に「興味がない」理由を尋ねたところ、「運用に回すお金がない（31.8%）」が最も高い割合となった。次いで、「（資産運用の）知識がない（29.0%）」となった。

【年代別】年代別で見ると、30代の「（資産運用の）知識がない（39.5%）」が最も高い割合となった。

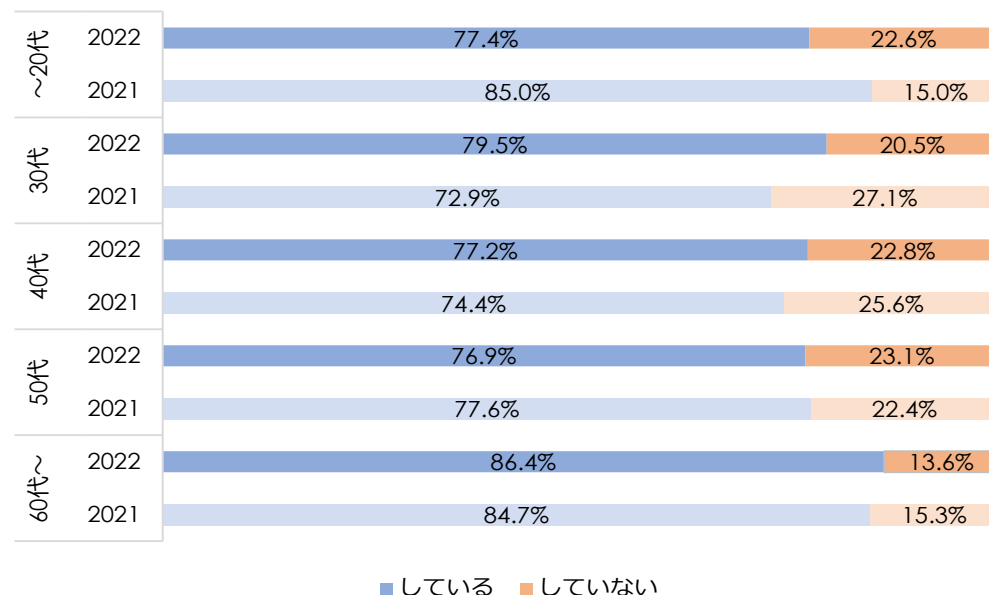
## 5. 資産運用について

### 5-4. 現在、何かしらの資産運用はしていますか？

《全体》



《年代別》



■ している ■ していない

#### 興味がある方の約8割がすでに資産運用を行っている

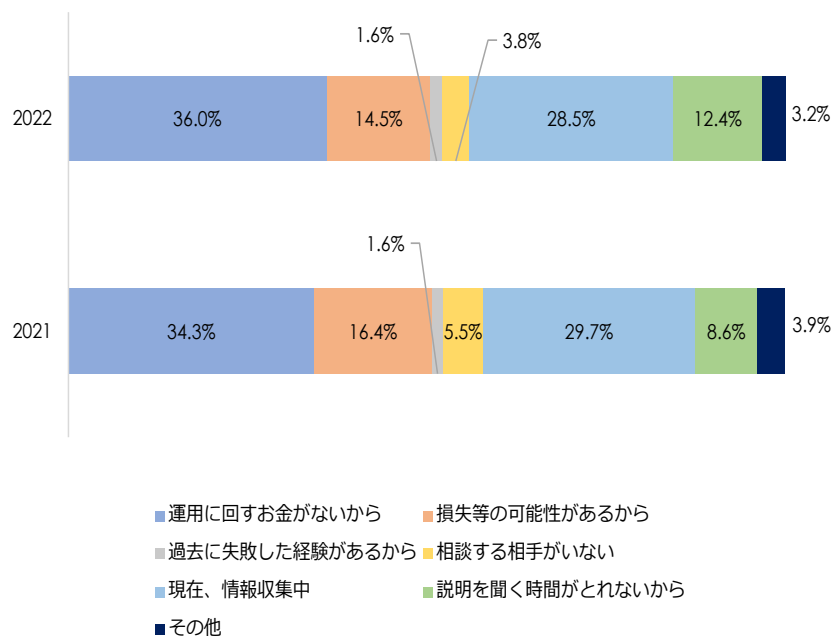
【全体】質問5-3. で資産運用に「興味がある（66.7%）」と回答した方に資産運用をしているか尋ねたところ、「している」と回答した割合が前年比同水準の78.8%となった。資産運用に「興味がある」の大半はすでに資産運用を開始しているとの結果となった。

【年代別】60代において「資産運用をしている（86.4%）」が最も高い割合となった。2020年（75.7%）→2021年（84.7%）→2021年（86.4%）と、年々資産運用を開始している割合が増えている。

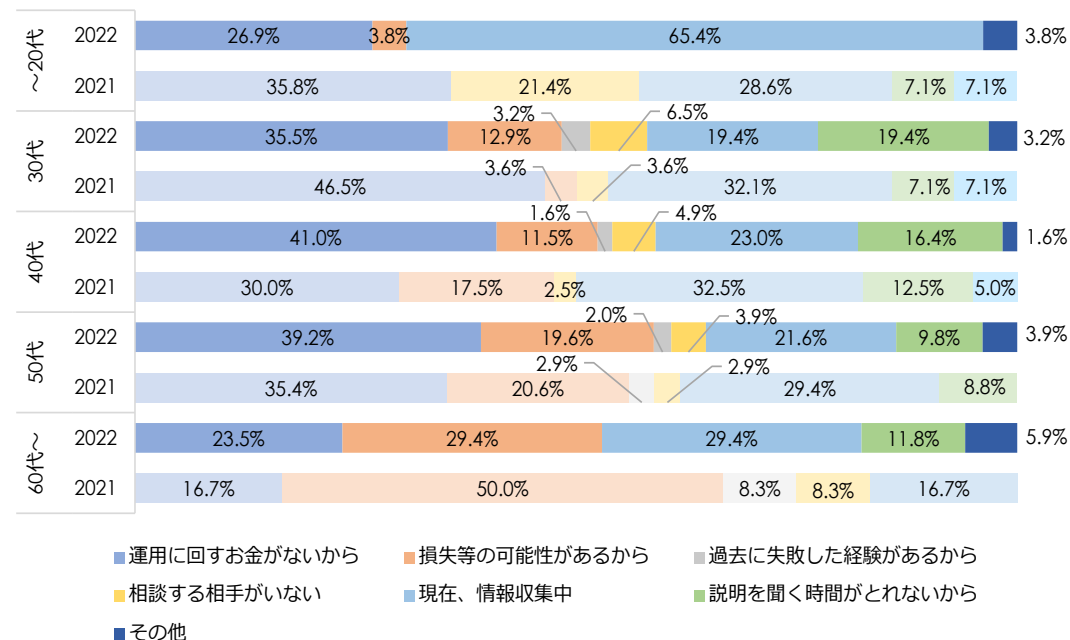
# 5. 資産運用について

## 5-4-1. 資産運用を始めていない一番の理由を教えてください。

《全体》



《年代別》



### 興味はあるが、「運用に回すお金がない」が最多

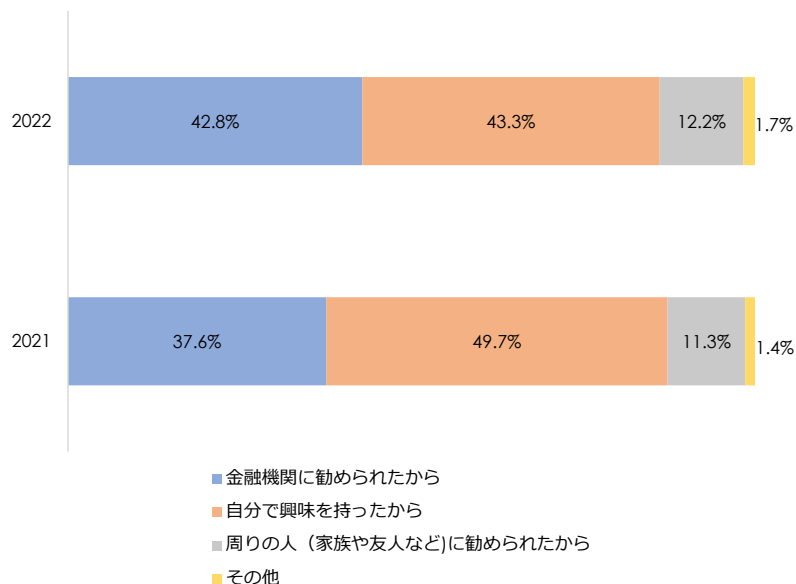
【全体】質問5-4. で資産運用を「していない（21.2%）」と回答した方に、資産運用を始めていない一番の理由を尋ねたところ、「運用に回すお金がない（36.0%）」が最も高い割合となった。次いで「情報収集中（28.5%）」となった。

【年代別】20代の「情報収集中（65.4%）」が最も高い割合となった。若い世代を中心に運用を行うための情報収集を行っている段階であり、若い世代向けの情報をより積極的に発信していくことが必要だと思われる。

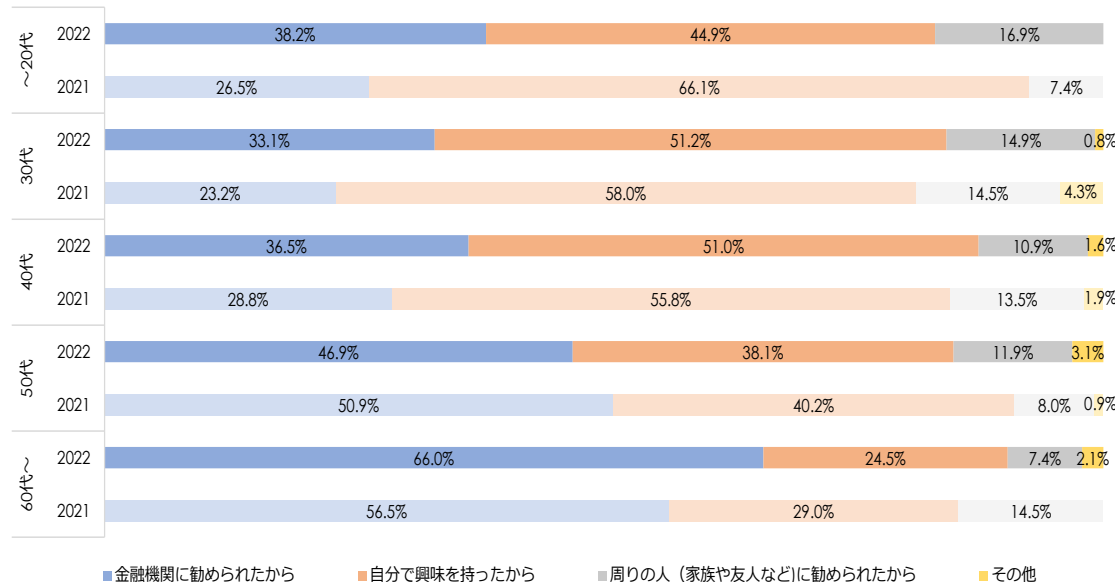
# 5. 資産運用について

## 5-5. 資産運用を始めたきっかけを教えてください。

《全体》



《年代別》



### 「金融機関に勧められて」資産運用を開始が増加

【全体】質問5-4. で資産運用を「している（78.8%）」と回答した方に資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「自分で興味を持った（43.3%）」が高い割合となった。次いで「金融機関に勧められた（42.8%）」は昨年比5.2ポイント増で増加率が最も高くなった。

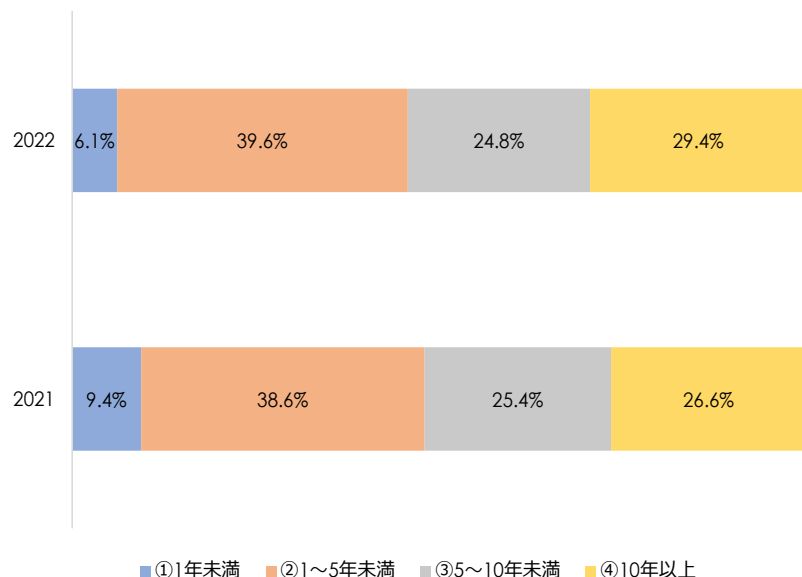
【年代別】40代までの若い世代は「自分で興味を持って」始めた割合が高かった。資産運用の認知が進む中で、若い年代ほど興味を持ち、自ら始めるケースが多い。50代以上は金融機関で勧められて始めた方が多いことがわかった。



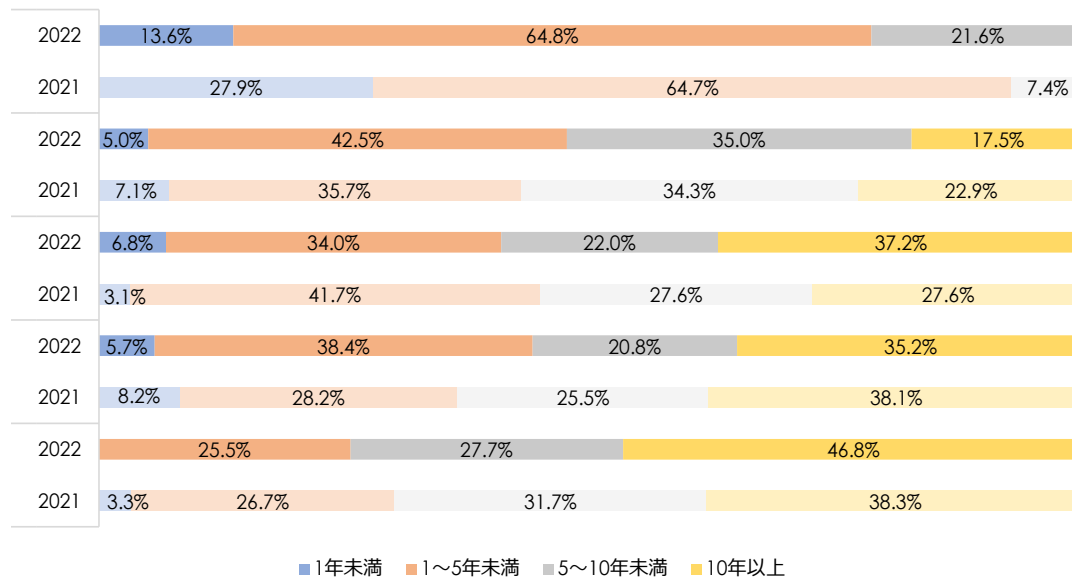
# 5. 資産運用について

## 5-6. 資産運用を始めてから何年になりますか？

《全体》



《年代別》



### 中長期間での資産運用が浸透

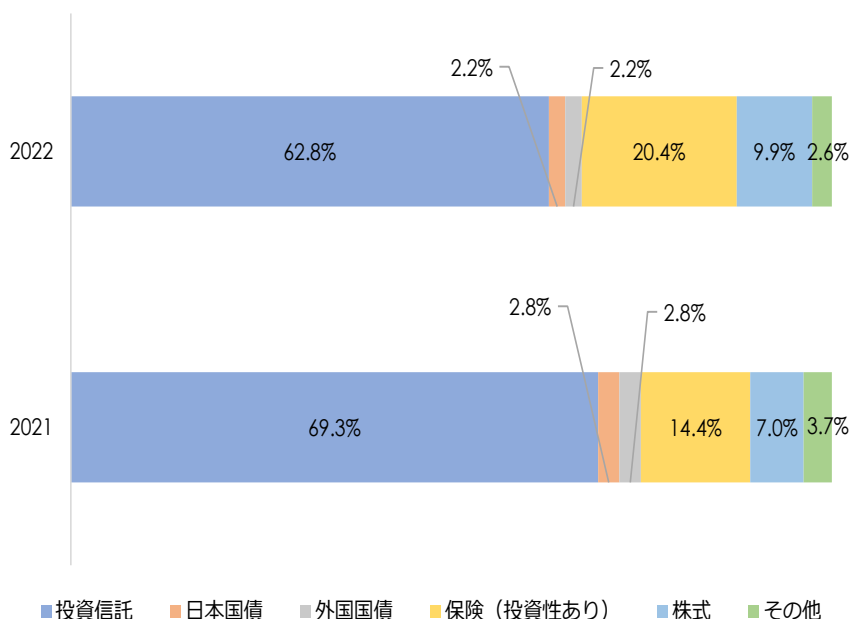
【全体】質問5-4. で資産運用を「している（78.8%）」と回答した方に、資産運用を始めて何年になるか尋ねたところ、「1~5年未満（39.6%）」が最も多い割合となった。「10年以上（29.4%）」も前年比2.8ポイント増加している。

【年代別】20代において「5~10年未満（21.6%）」が昨年比14.2ポイント大幅に増加しており、40代、60代以上においても「10年以上」が昨年比で増加していることから、中長期的な運用が浸透してきている結果となった。

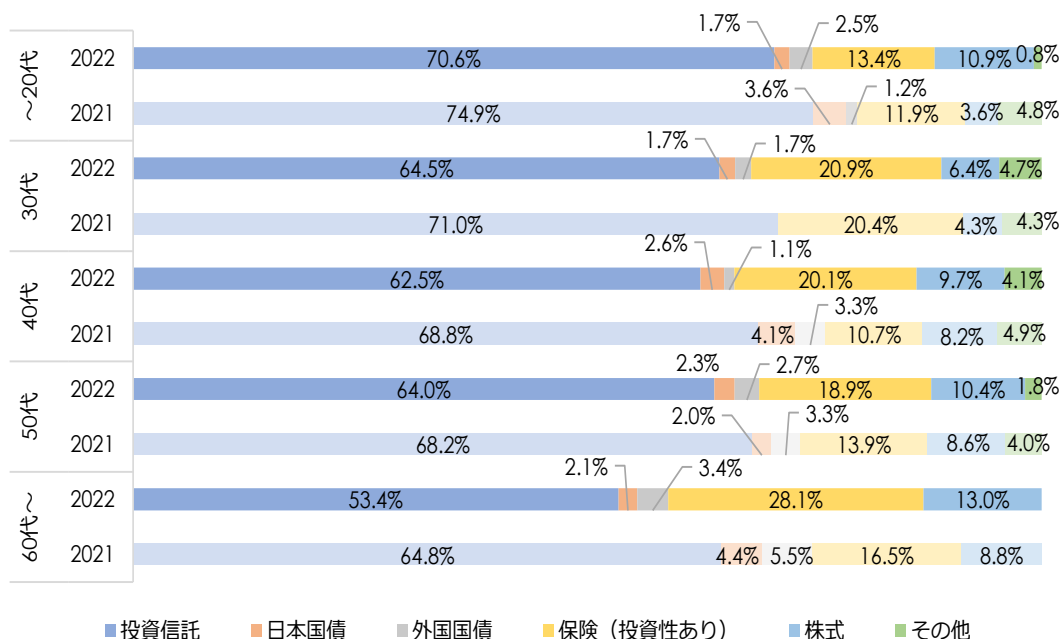
# 5. 資産運用について

## 5-7. どのような商品で資産運用をしていますか？

《全体》



《年代別》



### 身近な投資信託が人気

【全体】質問5-4. で資産運用を「している (78.8%) 」と回答した方に、どのような商品で資産運用をしているか尋ねたところ、「投資信託 (62.8%) 」が最も多い割合となった。

【年代別】すべての年代で「投資信託」が最も多い割合となった。また、商品構成として投資性のある保険や株式の割合が増加している。投資信託はネットで申し込みができるなど、身近な運用商品として定着しつつあるものと思われる。